

地域での活動

小中学生との震災対策

10月5日(土)及び6日(日)、昨年に引き続き、中学校にて行われた「**小中合同宿泊震災訓練**」に参加しました。参加者は、小中学生有志と、校長先生・副校長先生、町会有志及びPTA有志。私は「町会の一員」兼「PTAの一員」として参加しました。内容は、**震災救援所立ち上げ訓練**を子供達中心に行い、その他、体育館での**段ボールハウス作り**や、**HUG(避難所運営ゲーム)**等も行いました。また、9月21日(土)～22日(日)には、小学校にて行われた「**学校に泊まろう会**」に、今年もPTAとして参加。ここでは、**災害用トイレの組立て**や**防災倉庫見学**等を行いました。



中学校での訓練では、小学校6年生の男子児童を担当しましたが、訓練中にどんどん逞しくなる様子を見て、「体験活動の大切さ」を改めて感じました。

私自身、近隣小学校における「震災救援所運営連絡会」の一員ですので、定期的に訓練を繰り返し、**様々な場での気付きを区政に活かしていきたい**と思います。

社会を明るくする運動

7月1日(月)、地域で活動する保護司として、「社会を明るくする運動(*5)」**駅頭広報活動に参加する中学生に対し、運動の意義等について説明**を行いました。(*5) 犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、犯罪のない明るい地域社会を築こうとする全国的な運動。

第69回
社会を明るくする運動
主催/法務省



～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～
「社会を明るくする運動」杉並区推進委員会



駅頭広報活動自体は、残念ながら雨天のため中止となりました。しかしながら、中学生に説明するなかで、**生徒達がボランティア活動をどう捉えているか**等、身近に触れることが出来ました。

地に足のついた政策提言を行うためにも、学校現場の様子を知ることができるといった機会は、今後も積極的に関わっていききたいと思います。

スペシャルオリンピックス

6月22日(土)、私が主任コーチを務めるスペシャルオリンピックス(*6)・バレーボール・プログラムの新たな取組みとして、「**高校に出向き、高校生と一緒にプログラムを実施**」しました。

参加アスリート(*6)約10名のところ、高校生は40名超が参加。最大20名程度の参加と考えておりましたので、その場で練習内容を変更し、「より多く触れあえ、アスリート・高校生ともに良い経験となるよう」努めました。

(*6)知的障害のある人たち(アスリート)に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織。



スポーツによる交流を通して、現在の高校生の様子や、また、アスリートの新たな一面を知ること出来ました。お互いを支え合う社会をつくるには、まずはお互いを知ることが大切です。現場での体験・経験も糧に、**共助・助け合いの基盤を区政に仕組みとしてどう構築していくか**、引き続き考えていきたいと思っています。



次回の定例区議会(令和元年第4回定例会)は、11月19日(火)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail:ikuma@gakushikai.jp



杉並区議会議員(無所属)
岩田いくま 区政報告

第64号(令和元年秋号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp
HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。令和元年5月より5期目。
趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族:妻、長男(16歳)、長女(14歳)、次男(11歳)。

P.1 平成30年度決算に対する判断について

P.3 調査活動について

P.2 決算特別委員会での質疑について

P.4 地域での活動について

施策目標達成状況が過去最低

～平成30年度杉並区決算を分析する～

平成30年度杉並区一般会計決算が、10月15日の区議会において、賛成多数で認定されました。

私は、目標を達成した施策指標の比率が過去最低であったこと、また、財政面では改善が見られたものの目標値を達成できなかったことから、反対いたしました。

判断1:目標を達成した施策指標

施策指標の目標達成状況

目標を達成した施策指標の割合

総合計画(平成24～33年度)では、事業の進捗状況を図るために、各施策指標(*1)に対して各年度の目標値を設定しております。これまで、その達成状況は芳しくありませんでしたが、平成30年度は、目標を達成した施策指標の割合が約20%という、過去最低の達成状況でした。これでは、総合計画最終年度(平成33年度(令和3年度))における目標達成は、非常に厳しいと言わざるをえません。	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	29.2%	47.9%	43.4%	36.6%	40.2%	29.3%	20.5%

(*1)施策指標...当初は73項目。現在は85項目。

判断2:財政指標

経常収支比率

経常収支比率の推移

総合計画(平成24～33年度)では、区自らが「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール」の筆頭目標として、「経常収支比率(*2)について80%以内を目指します」と定めております。	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	82.8%	82.5%	79.8%	79.7%	81.9%	82.6%	81.7%

しかし、平成30年度は**81.7%**と、前年度からは0.9%改善したものの、**80%を上回ってしまいました**。

(*2)経常収支比率...財政の弾力性を判断する指標。適正水準は、一般的に70～80%とされている。比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを示している。



区政の各施策について8割が目標を達成できませんでした。昨年の決算特別委員会で指摘した「**目標に対する意識の希薄化**」が**全く改善されていない**結果となり、行政をチェックする議会の一員として、厳しい対応を取らざるをえません。

決算特別委員会での質疑

10月1日～10月11日、決算特別委員会が開催され、10月2日、3日、8日に質問者として登壇しました。以下、その一部を取り上げます。

* 決算特別委員会の様子は、杉並区議会公式ホームページの委員会録画放映(下記)でご覧いただけます。

http://suginami.gijiroku.com/voices/g07_Video2_Search.asp

【質問でとりあげたテーマ】

2日	財政(経常収支比率/区債と基金)(P.1参照) 補助金交付・審査点検事務
3日	人材育成計画 障害者スポーツ
	行財政改革(シェアードサービス) 内部統制
8日	富士見ヶ丘駅周辺まちづくり
	小中学校の移動教室 中学生と赤ちゃんのふれあい授業

【障害者スポーツ】

【質問の背景】

平成30年度予算の区長による編成方針説明(平成30年2月9日)では、「障害のある方々がスポーツに取組みやすい環境を整えていくことが示されておりました。

実際の取組みとして、①**障害当事者による体育施設**のモニタリング②モニタリング結果に基づく体育施設の改修(案内表示の改善や誘導路マットの設置)及び施設職員対象の研修等が行われました。



大宮前体育館の誘導路マット

【岩田の質問】

上井草スポーツセンター・荻窪体育館・大宮前体育館の改修がなされているが、今後の取組みは?

【区の答弁】

(課長) 今後、他施設について計画的に進めていく。(区長) **将来、学校体育館のバリアフリー化も念頭**にある。今後、様子を見ながらしかるべき時期に具体的に検討していきたい。



障害者スポーツに携わってきたひとりとして(P.4参照)、**こうした取組みは素直に評価**しております。

着実に取組みが進められていくよう、今後も留意していきたいと思ひます。

【補助金交付・審査点検業務】

【質問の背景】

今年7月、区内商店会(西荻窪地域)における「補助金不正受給」について、東京都から杉並区に補助金返還請求があり^(*)、**8月2日の杉並区議会臨時会において、都への補助金返還及び損害の賠償(違約加算金の納付)を可決**しました。

その際、補助金不正受給に至った責任の所在を明らかにするために、区に「**検証委員会**」を設け、9月議会に中間報告を行うとしておりましたが、報告されたのは「進捗状況」にとどまりました。^(*)都の補助金は区を通じて支給しているため。

【岩田の質問】

①不正受給が指摘された補助金は、平成30年度分も含まれる。中間報告すら出ていない状況では、区の補助金交付・審査点検事務が適切に執行されたのか、**決算を判断する材料に欠けると言わざるを得ない**が、見解は?

②商店街補助金点検業務を、杉並区商店会連合会に委託している。当該委託業務は適切に行われていたと判断しているのか?

【区の答弁】

①決算審議に支障があるのはお詫び申し上げます。②区の責任、委託した杉並区商店会連合会の責任、西荻窪商店会連合会の責任を、それぞれ検証委員会で調べている。



通常は課長(ないし部長)が答弁するところ、**区長自らが答弁**されたことは、課題の重大さを認識してのことと、素直に受け止めたいと思ひます。

11月には検証委員会の報告、及び、検証結果に対応した補正予算の提出がなされる予定となっております。**都への返還金に区民の税金が使われることのないよう**、議会の一員として対応していきたいと思ひます。



調査活動

学校・教育 総合展

6月19日(水)、「第10回 学校・教育 総合展」を訪れました。

セミナーは、事前登録をしていた「**プログラミング教育**」で未来に役立つ力を(講演:(株)ディー・エヌ・エー代表取締役会長 南場智子氏)を受講。横浜市での取組み(小学生がプログラミングを活用して、商店街活性化のアニメを制作)等を伺いました。また、出展社ブースでは、**体育館向けスポットエアコン**^(*)や学習活動支援ソフトウェアについて、お話を伺いました。^(*)杉並区では、一部改築校を除き、令和3年度までに区立小中学校全校の体育館に空調設備を設置する計画です。

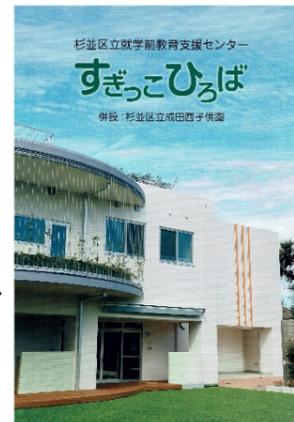


プログラミング教育や体育館への空調設備設置等、時代・社会環境の変化に伴い、議員として調査すべき事項も変わってまいります。

外部のセミナー等も活用しながら、しっかりと対応していきたいと思ひます。

就学前教育支援センター

9月30日(月)、杉並区が新たに開設する「就学前教育支援センター」の内覧会がありました。当センターでは、**就学前教育の調査・研究や質の向上**を図るだけでなく、**発達障害児等への教育的支援**も行っていくこととしております。



就学前教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な教育です。新たな施設が有効に活用されるよう、今後はソフト面での取組みがしっかり機能しているかを、議会の立場から見守っていきたく思ひます。

会派視察

8月21日(水)、「**AIを活用したスマートモビリティへの取組み**」について調査するため、公立はこだて未来大学に伺いました(その後、函館市役所も訪問)。お話を伺ったのは、未来型AI公共交通サービスと銘打たれた**SAVS(Smart Access Vehicle Service)**の取組み。これは、

◆タクシー(デマンド交通)と路線バス(乗合い交通)の長所を融合した、ルートを固定せず需要に応じて乗合い車両を走行させるシステム

であり、

◆AIでリアルタイムに車両の最適な走行ルートを完全自動(無人)で決定するというものです。

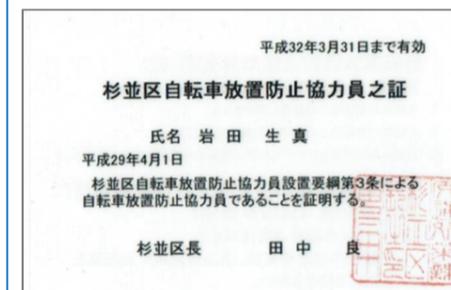


高齢化の進展に伴い必要となるサービスを、新しい技術で解決していく試みは、杉並区においても必要と考えます。様々な取組みを調査し、杉並区に適したサービスは何か、今後も考えていきたいと思ひます。

自転車放置防止協力員

9月9日(月)、「杉並区自転車放置防止協力員地域別連絡会」に参加しました。

当日は、区の放置自転車対策の現状や当面の変更点について改めて説明を受けるとともに、各駅周辺の状況等を伺いました。



自転車放置防止協力員の活動は、『杉並区協働推進計画』にも「区民参加による地域社会づくり」のひとつとして位置づけられています。自らも一員として活動する中で、より良い仕組みとなるよう取組んでいきたいと思ひます。